

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成20年8月14日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	北川工業株式会社
【英訳名】	KITAGAWA INDUSTRIES CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北川 弘二
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市中区千代田二丁目24番15号
【電話番号】	(052)261-5521（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 大田 英治
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市中区千代田二丁目24番15号
【電話番号】	(052)261-5528
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 大田 英治
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第52期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	3,984,119	15,870,327
経常利益(千円)	936,215	3,181,228
四半期(当期)純利益(千円)	603,327	1,840,636
純資産額(千円)	28,855,738	28,205,421
総資産額(千円)	33,011,746	32,427,141
1株当たり純資産額(円)	2,287.16	2,229.48
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	47.75	144.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	87.4	87.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	821,700	2,972,650
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	225,017	469,376
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	194,688	345,414
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	13,360,491	12,742,994
従業員数(人)	617	613

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	617	(279)
---------	-----	-------

（注）従業員数は当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第1四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	249	(210)
---------	-----	-------

（注）従業員数は当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント事業(千円)	2,524,452
その他事業(千円)	64,044
合計(千円)	2,588,496

- (注) 1. 生産を行っている会社の販売価格によっております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当社グループは受注見込による生産方式をとっているため、該当事項はありません。

#### (3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類ごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント事業(千円)	3,909,410
その他事業(千円)	74,708
合計(千円)	3,984,119

- (注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結はありません。

## 3【財政状態及び経営成績の分析】

### (1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとした資源価格の高騰やサブプライムローンによる米国経済の減速などにより景気後退懸念が急速に強まってまいりました。

このような経済情勢の中で、当社グループは開発、生産、販売の内外での連携体制のさらなる強化に努め、主力市場である電機・情報・通信機器業界でのユーザー深耕に加え、自動車、住設、工作機械など内需関連市場の開拓にも注力を続けてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績は売上高3,984百万円、営業利益746百万円、経常利益936百万円、四半期純利益603百万円となりました。

所在地別実績につきましては、日本国内は売上高2,958百万円、営業利益は454百万円となりました。中国は売上高813百万円、営業利益157百万円となりました。中国以外のその他の在外は売上高1,084百万円、営業利益126百万円となりました。

なお、海外売上高は1,642百万円となり連結売上高に占める割合は41.2%であります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて617百万円増加し、13,360百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した現金及び現金同等物は821百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益935百万円、減価償却費180百万円、売上債権の減少額133百万円および法人税等の支払額397百万円などの結果によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した現金及び現金同等物は225百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出231百万円、有形固定資産の取得による支出224百万円、有価証券の取得による支出209百万円および有価証券の売却及び償還による収入503百万円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した現金及び現金同等物は194百万円となりました。これは、配当金の支払額145百万円および自己株式取得による支出49百万円によるものであります。

### (3) 事業上および財政上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更および新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、101百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	39,500,000
計	39,500,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,079,525	13,079,525	名古屋証券取引所 市場第二部	-
計	13,079,525	13,079,525	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	-	13,079,525	-	2,770,000	-	3,915,130

#### (5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期連結会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）にもとづく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 428,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式12,614,200	126,142	-
単元未満株式	普通株式 36,925	-	-
発行済株式総数	13,079,525	-	-
総株主の議決権	-	126,142	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,700株、議決権が17個含まれております。

【自己株式等】

平成20年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
北川工業株式会社	名古屋市中区千代田 2 - 24 - 15	428,400	-	428,400	3.27
計	-	428,400	-	428,400	3.27

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高（円）	1,490	1,460	1,491
最低（円）	1,360	1,399	1,380

（注）最高・最低株価は、名古屋証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。



## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,472,515	12,268,569
受取手形及び売掛金	4,442,692	4,561,775
有価証券	4,031,947	3,682,274
商品及び製品	664,685	585,472
仕掛品	169,604	179,525
原材料及び貯蔵品	150,720	139,998
その他	561,259	548,185
貸倒引当金	4,782	4,328
流動資産合計	22,488,643	21,961,473
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,029,297	4,021,509
その他(純額)	1 3,925,376	1 3,957,616
有形固定資産合計	7,954,673	7,979,125
無形固定資産		
その他	334,065	292,379
無形固定資産合計	334,065	292,379
投資その他の資産		
投資有価証券	708,884	677,212
長期預金	500,000	500,000
その他	1,101,303	1,138,490
貸倒引当金	75,823	121,540
投資その他の資産合計	2,234,364	2,194,162
固定資産合計	10,523,102	10,465,668
資産合計	33,011,746	32,427,141
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,214,402	2,224,720
未払法人税等	432,331	474,415
賞与引当金	360,959	244,357
その他	446,872	532,000
流動負債合計	3,454,565	3,475,494
固定負債		
退職給付引当金	403,870	426,078
役員退職慰労引当金	293,960	316,740
その他	3,612	3,406
固定負債合計	701,442	746,225
負債合計	4,156,007	4,221,719

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,770,000	2,770,000
資本剰余金	3,915,130	3,915,130
利益剰余金	23,119,894	22,662,008
自己株式	756,260	707,059
株主資本合計	29,048,763	28,640,078
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	165,742	146,928
為替換算調整勘定	358,767	581,585
評価・換算差額等合計	193,025	434,656
純資産合計	28,855,738	28,205,421
負債純資産合計	33,011,746	32,427,141

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
【第 1 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日 )
売上高	3,984,119
売上原価	2,002,338
売上総利益	1,981,781
販売費及び一般管理費	1,235,127
営業利益	746,653
営業外収益	
受取利息	37,073
受取配当金	4,909
助成金収入	102,546
その他	50,618
営業外収益合計	195,147
営業外費用	
支払利息	164
売上割引	1,282
その他	4,138
営業外費用合計	5,585
経常利益	936,215
特別利益	
固定資産売却益	173
特別利益合計	173
特別損失	
固定資産売却損	950
固定資産除却損	231
特別損失合計	1,181
税金等調整前四半期純利益	935,208
法人税等合計	331,880
四半期純利益	603,327

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	935,208
減価償却費	180,042
退職給付引当金の増減額(は減少)	23,453
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	22,780
賞与引当金の増減額(は減少)	116,361
貸倒引当金の増減額(は減少)	45,412
受取利息及び受取配当金	41,982
支払利息	164
為替差損益(は益)	15,345
有形固定資産売却損益(は益)	1,007
売上債権の増減額(は増加)	133,045
たな卸資産の増減額(は増加)	80,950
仕入債務の増減額(は減少)	14,492
未払消費税等の増減額(は減少)	40,203
未収消費税等の増減額(は増加)	61,598
その他	28,226
小計	1,171,035
利息及び配当金の受取額	48,195
利息の支払額	164
法人税等の支払額	397,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	821,700
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額(は増加)	231,293
有価証券の取得による支出	209,903
有価証券の売却及び償還による収入	503,030
有形固定資産の取得による支出	224,192
有形固定資産の売却による収入	3,529
無形固定資産の取得による支出	37,706
その他	28,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	225,017
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	49,200
配当金の支払額	145,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	215,502
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	617,497
現金及び現金同等物の期首残高	12,742,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,360,491

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)</p>
<p>1. 会計処理基準に関する事項の変更</p>	<p>(1) 重要な資産の評価基準および評価方法の変更</p> <p>たな卸資産 通常の販売目的で所有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は7,431千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用</p> <p>当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる損益に与える影響は軽微であります。</p>

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1. たな卸資産の評価方法	当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実施たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
3. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。
4. 経過勘定項目の算定方法	合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
5. 繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1. 税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1. 有形固定資産の減価償却累計額は、8,238,730千円です。	1. 有形固定資産の減価償却累計額は8,092,655千円です。

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)								
1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬及び給与手当</td> <td style="text-align: right;">495,988千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">94,330千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">2,557千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,920千円</td> </tr> </table>	役員報酬及び給与手当	495,988千円	賞与引当金繰入額	94,330千円	退職給付費用	2,557千円	役員退職慰労引当金繰入額	2,920千円
役員報酬及び給与手当	495,988千円							
賞与引当金繰入額	94,330千円							
退職給付費用	2,557千円							
役員退職慰労引当金繰入額	2,920千円							

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)								
1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">12,472,515千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が6か月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">2,934,054千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券のうちMMF等</td> <td style="text-align: right;">3,822,031千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">13,360,491千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	12,472,515千円	預入期間が6か月を超える定期預金	2,934,054千円	有価証券のうちMMF等	3,822,031千円	現金及び現金同等物	13,360,491千円
現金及び預金勘定	12,472,515千円							
預入期間が6か月を超える定期預金	2,934,054千円							
有価証券のうちMMF等	3,822,031千円							
現金及び現金同等物	13,360,491千円							



(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,079,525株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 463,105株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	145,487	11.50	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

製品の種類、性質、製造方法、販売市場等が類似している「電磁波環境コンポーネント・精密エンジニアリングコンポーネント」事業の売上高および営業利益の金額は、いずれも全事業合計の90%を超えているため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,341,852	693,260	949,006	3,984,119	-	3,984,119
(2) セグメント間の内 部売上高	616,980	120,089	135,480	872,550	(872,550)	-
計	2,958,832	813,349	1,084,487	4,856,670	(872,550)	3,984,119
営業利益	454,471	157,492	126,074	738,038	( 8,615)	746,653

(注) 1. セグメント区分の決定方法

事業活動の独自性を考慮し、主として国別に区分しております。

2. 所在地別セグメント「その他」には、主としてドイツ、シンガポールおよび台湾が含まれております。

3. 会計方針の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.(1)に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、当第1四半期連結会計期間より通常の販売目的で所有するたな卸資産について主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来と同一の方法によった場合と比べて、所在地セグメント「日本」の営業利益は7,431千円減少しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	中国	その他	計
海外売上高(千円)	693,260	949,334	1,642,594
連結売上高(千円)	-	-	3,984,119
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.4	23.8	41.2

(注) 1. セグメント区分の決定方法

事業活動の独自性を考慮し、主として国別に区分しております。

2. 海外売上高「その他」には、主としてドイツ、シンガポールおよび台湾が含まれております。

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国における売上高であります。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,287.16円	1株当たり純資産額	2,229.48円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	47.75円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
四半期純利益(千円)	603,327
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	603,327
期中平均株式数(千株)	12,636

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年 8月14日

北川工業株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 田島和憲

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 柏木勝広

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 楠元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北川工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北川工業株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。